



森脇 徹 議員

コロナ禍で、懸命に子どもを守り保護者を励ますこども園スタッフの願いに応じて

問 静里なのはな園や他の市内公立園における今後の改修について伺う。

答 緊急性や必要性を考慮し、計画的に検討を進めてまいります。

問 静里なのはな園では、廊下床の老朽化からササクレがおき、今年から幼児は上履き対応をしている。

問 同園と公立園の施設の現状と今後の改修を伺う。

答 子ども未来部長

同園は開園して15年経過し、床の老朽化等で改修が必要な箇所が出てきていることは把握しています。今後も、なのはな園を含めた公立園各園の改修は緊急性や必要性を考慮し、合併特例債の活用も視野に入れて計画的に進めます。

問 保護者からは「改修で安心な園舎にし、はだし保育の復活を」の声が寄せられた。この声は共産党議員団実施の市民アンケートの返信の声だ。ササクレ箇所は担当で現状把握はしているか。

答 子ども未来部長

そのような状況は、現地を見て十分把握しています。200箇所を超える小さな補修も承知しています。

問 補修は233箇所だと確認している。そげが刺さる事案が昨年1年間で48件発生し、2件は通院された。来年度から実施設計、施工を早急に進めなければ、

保護者の心配は払拭できない。担当だけでなく、総務部も関わって協議し対応すべきでは。

答 総務部長

市の管理する行政財産は、それぞれ所管で管理しています。

問 建築専門家の判断を経て早急な実施調査が必要と思うが。

答 総務部長

施設の安全策については、市のいかなる施設でも講じなければならぬと感じています。その中で、優先順位・危険度等の順位付けがされており、担当部の精査と予算協議の場でそういった点も踏まえて検討してま

います。

問 十分に確かな協議を求めている。市内園でも、なのはな園とさくら園では、はだし保育を保育の特色・目的にしている。はだし保育の復活と、他の園においてもはだし保育など、保護者の願いに応えた施設にしていける認識はあるか。

答 子ども未来部長

はだし保育には、はだし保育の良さがあることは十分承知しています。同園の改修時に十分に検討調整していきます。



床のささくれ

その他の質問

- 雇用と事業を維持し、地域経済を持続可能にする支援策を
- 施設目的を大事にする指定管理更新となっているか